

平成25年度「ヘルシーピープルみえ・21」年次報告（保健環境研究所）

① 市町の健康づくりに関するデータ分析などの技術支援行った実績

支援市町名	支援概要
松阪市（保健部健康推進課）	がん健診の受診者・未受診者リストをデータベース化し、受診率向上のために実施した受診勧奨通知（がん検診無料クーポン対象者のうち未受診者に送付）の効果の検証方法を検討した。
鳥羽市（健康福祉課）	「鳥羽市健康増進計画アンケート」の結果の取りまとめについて助言を行った。
志摩市（健康推進課）	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度に三重県公衆衛生学会で発表した「幼児健診などから見る志摩市の歯科保健について（第1報）」に続き、幼児健診結果等に基づきう蝕や歯数、生活習慣が「食欲」や「体格（カウプ指数）」に及ぼす影響の分析について助言し、日本公衆衛生学会での発表を支援した。 小中学生のおかれた喫煙環境（受動喫煙）と喫煙に関する意志行動等の関連性を調査したアンケート結果の取りまとめについて助言した。 特定健診データの活用方法の検討を行い、日本公衆衛生学会の自由集会で報告するとともに、「志摩市における特定健診結果からみえた保健事業の方向性について～5年間の経年傾向から～」として分析結果を取りまとめ、三重県公衆衛生学会での発表を支援した。（奨励賞受賞）
いなべ市（健康推進課）	平成18～21年度に実施した妊婦アンケート結果とEPDS（エジンバラ産後うつ質問紙票）・赤ちゃんへの気持ち質問票結果との関連性の解析結果に基づき、平成22～24年度に実施したハイリスク妊婦への早期支援の有効性検証について助言し、日本公衆衛生学会での発表を支援した。
松阪保健所（保健衛生室地域保健課）	<ul style="list-style-type: none"> 松阪地域における過去3年間（平成21～23年度）の小児慢性特定疾患受給更新時の申請書類に基づき、受給児数、重症申請状況、医療機関・訪問看護の利用状況等の実態把握方法の検討について助言し、三重県公衆衛生学会での発表を支援した。 妊娠届出書及び妊娠届出時アンケート調査結果の集計及び分析結果の取りまとめを支援した。
健康福祉部（健康づくり課）	健康寿命の算出に係る技術支援を行った。
健康福祉部（健康づくり課）	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年12月～平成25年2月に実施した「自殺企図者支援実態調査」の集計及び分析結果の取りまとめを支援した。 平成25年度に実施した「がん検診利用促進のための意識調査」の集計及び分析結果の取りまとめを支援した。

② 健康づくり関連分野における平成25年度の研究実績

項目	研究概要
第72回日本公衆衛生学会で発表	<p>演題番号10837. EPDSの分析結果に基づく妊婦届出時アンケートによる早期支援の有効性の検証：発表者 いなべ市健康こども部健康推進課 松上</p> <p>演題番号10566. 3歳児健康診査から見える幼児期からの生活習慣の大切さについて：発表者 志摩市健康推進課 田中</p>
第66回三重県公衆衛生学会で発表	<p>演題番号4. 松阪地域における小児慢性特定疾患医療受給児の実態について：発表者 松阪保健福祉事務所（保健衛生室地域保健課）濱田</p> <p>演題番号15. 志摩市における特定健診結果からみえた保健事業の方向性について～5年間の経年傾向から～：発表者 志摩市健康推進課 岡 <奨励賞受賞></p>

③ 健康づくり関連分野における平成26年度の研究予定

項目	研究予定概要
特定健診に基づく三重県の健康状況“見える化”ツールの開発（平成26～28年度調査研究事業）	<p>生活習慣病予防は、三重の健康づくり基本計画の全体目標である「健康寿命の延伸」に直結する重要な課題である。本県の平均寿命は男女とも延伸傾向がみられるが、高齢化の進行や運動量の減少、食生活の乱れなどにより、生活習慣病有病者・予備群が今後増加する懸念が指摘されることから、県民の健康状況を継続監視し、地域健康課題を適切に把握していく必要がある。このため、市町が有する特定健診データの提供を依頼するとともに、市町における地域診断に不可欠なデータ可視化をサポートする「三重県の健康状況“見える化”ツール」の作成を検討する。</p>